

多職種連携研修会

地域では一つのチームとなって在宅患者さんを支える医療介護の専門職。それぞれの役割や視点を学び、連携がやりやすくなるように、事例検討やグループワーク中心の研修会を行っています。

	日付	テーマ	内容	参加者
第1回	2013年10月10日	多職種連携研修会	糸島地区の在宅医療の未来を考えるワールドカフェ 講師:辻智幸先生(辻薬局 唐津)・前田憲志先生(服巻医院 唐津)	81名
第2回	2014年11月16日	多職種連携研修会	LEGO® SERIOUS PLAYで糸島の在宅医療の未来を考えるワークショップ 講師:蓮沼孝先生(LEGO® SERIOUS PLAY認定ファシリテーター)	37名
第3回	2015年1月23日	多職種連携研修会	宗像地区在宅医療ネットワークに学ぶ多職種連携 講師:阿部久美子所長(宗像医師会訪問看護ステーション)	63名
第4回	2017年1月28日	チームアプローチが分かる事例検討会	脳卒中後遺症・認知症・独居の方を多職種で支えた方の事例検討 地域包括支援センターの活動報告	90名
第5回	2018年2月17日	チームアプローチが分かる事例検討会	末期癌で自宅で過ごされている方の医療・介護連携について事例検討	74名

※2018年度から圏域リーダーの活動が始まり、多職種連携研修会は各圏域で行われました。
詳しくは「地域リーダー・圏域リーダーの取り組み」をご覧ください。

第6回	2023年11月16日	在宅ケア事例検討会	聾啞者・神経難病のご夫婦の在宅生活を多職種で支えた事例 事例提供:さくらのクリニック・訪問看護ステーションよもぎ 他	67名
第7回	2024年8月22日	在宅ケア事例検討会	本人の意向を尊重したホームホスピスでの看取り事例 事例提供者:ホームホスピスしずく・あおぞら胃腸科・パキス 他	45名
第8回	2025年7月2日	地域と病院の連携を考える	地域包括と連携室のモヤモヤ事例 事例提供:前原西地域包括支援センター・糸島医師会病院 他	63名